



短期 (**短期 青年JV_A**)

事務局記入欄

受験番号

記入日: 2018 年 12 月 10 日

要請番号(JA 026 - 18 - 4 - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H108)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 <input type="checkbox"/> 日系	<input type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	長期	短期
東ティモール	臨床検査技師		<input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input checked="" type="radio"/> 11ヶ月	/	2019年 7月 から
配属	1) 受入省庁名 (日本語) 大学教育科学文化省				
属	2) 配属機関名 (日本語) 東ティモール国立大学 保健医療科学部 臨床検査学科		<input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 日系社会		
機	3) 任地(ディリ県ディリ) JICA事務所の所在地(ディリ)				
関	任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
概	4) 配属機関の規模・事業内容 同大学の保健技術者の養成部門として、保健医療科学部に臨床検査学科が2017年に設立。当初常任講師2名と30名の学生で開始したが、翌年の2018年は112名の生徒が入学、現在1500名以上が在籍中。同学部が目指すのは、東ティモール国が必要とする十分な水準をもつ医療人材を輩出すること。講師の役割としては、①教育(理論と実践を授業の中で行うこと)、②研究(永年雇用の講師のみ)、③コミュニティ・サービス・プログラム(実習の調整・モニタリング・評価)の3つがある。実習先は同国に6つある国立/県病院・ヘルスセンターやクリニック等。学生のフィールド・スタディ(村巡回等)によるデータ収集など)支援も行う。				
要	1) 要請理由・背景 同大学への海外からの支援は少なく、講師数も数えるほどしかない。現在常勤講師は2名いるのみであり、外部講師に頼っている状況である。同学部では、学生たちが日本で臨床検査技師としての実戦経験や知識を持つボランティアから直接学ぶことで、より高い知識と技術が身につくことを期待している。現在、授業で使用する教材や資料も不足している状況であり、講義は書き取りの時間に費やされることもあり、極めて非効率である。講義や実習の質は低く、生徒が得られる知識は限られているため、卒業後に病院等の現場で必要となる知識が今以上に得られるよう、協力が必要である。同国に派遣中の隊員2名が同大学の薬学科に協力して講義を行った経緯あり。				
請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 講師の役割として上述した3つのうち、①教育と③実習に関する活動を以下の通り行う。 ・臨床検査学科のスケジュールに合わせた講義と実践授業(週5日、一日2-4時間、週10-20時間程度) ※現地講師と共に授業に入ることを想定しているが、状況により単独で行うこともある ※講義内容については赴任後に決定する、講義はパワーポイントを使用 ・4年生後半に実施する実習(病院やクリニックでのインターン(約3ヶ月間)のほか、フィールド・スタディ(1.5ヶ月間)の調整と、毎週の訪問によるモニタリング・評価を行う ・このほか、中間・最終試験問題作成や生徒の管理・評価など、同学部が必要とする支援を行う				
概	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プロジェクター、臨床検査学科のカリキュラムとシラバス、コミュニティ・サービス・プログラムのマニュアルとガイドライン、6つの教室 ※教科書はお金のある人のみ購入				
要	4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長(男性、40代、薬剤師、公衆衛生修士、教授経験16年) 常勤・非常勤講師 複数名(男女、学士～博士、教授経験10-15年) ※講師のうち1名がカウンターパートとなる 活動対象者:学生(男女、1年生112名、2年生30名)		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (テトゥン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は ポルトガル語 (レベル: B)		
資格条件等	・ 免許/資格等 (臨床検査技師) 又は () ・ 性別 () 備考: ・ 学歴 (大卒) () 備考: 大学での指導のため修士尚歓迎 ・ 経歴 (実務経験) (3年以上) 備考: 実習も指導・監督するため ・ パワーポイントで資料作成ができること		任地での乗物利用の必要性 <input checked="" type="radio"/> 不要 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 四輪自動車 単車:青年のみ可 四輪車:SVのみ可		
			現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外		
地域概況	気候(サバナ気候) 気温(23~32 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	派遣希望時期:2019年7月。テトゥン語は任地到着後に学習予定。全員が教科書を持っているわけではないため、データ共有等が必要となる。				